

# Vine

「地域の中核、世界の人材」  
UNIVERSITY OF YAMANASHI

山梨大学広報  
ヴァイン

2018  
vol.32  
March

**[特集1] 子どもたちの明るい未来のために!**

～山梨大学教育学部の教員養成～

**[特集2] 山梨大学の独創的な工学系研究**



[人物発掘] 市川大輔教授 大学院総合研究部医学域臨床医学系外科学講座第一教室

[ゼミ紹介] 工学部応用化学科 矢崎研究室

[びっくあっぱレッスン] 全学共通教育科目 観光学入門

[クロスアップび〜ぶる] 白井彪留(教育学部生活社会教育コース3年)/大澤いくみ(医学部医学科4年)

[サークル紹介] 競技百人一首サークル/山梨大学写真部/医学部軽音楽部/医学部交響楽団

UNIVERSITY OF YAMANASHI NEWS & TOPICS



# 子どもたちの明るい未来のために!

## ～山梨大学教育学部の教員養成～

近年、学校の先生になるための「教員養成課程」が大きく変わりつつあります。

2020年度より教育現場へ順次導入される新学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」を重視し、子どもたちの「何ができるようになるか」を明確化した上で、主体的・対話的で深い学びを、授業改善等を通じて実現させるとしています。

また昨今、教員の働き方や部活動指導の見直しなど、一人の社会人としてワーク・ライフ・バランスを実現させるための改革を

推進すべく、現在政府で議論が進んでいます。

しかし、グローバル化が進む多様な現代社会においても、「人を育てる」役割の重要性は変わりません。教壇に立つ教員は、自覚・意欲・使命感を持って、子どもたちの成長のため日夜努力しています。

変わる環境、変わらぬ役割—今回は、山梨大学を卒業し、現場第一線で活躍している教員のインタビューを交えながら、教育学部の教員養成の特色・魅力をお伝えします。

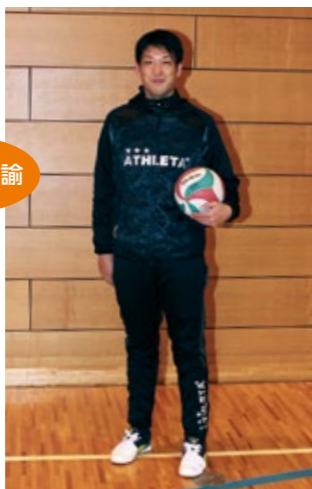
## 梨大出身、現役教師が語る—教員の魅力とは?

### 小澤哲也教諭

平成16年  
教育人間科学部(スポーツ健康科学コース)卒業

身体も鍛えながら  
心も鍛える。  
子供の成長を  
間近で感じたい!

小学校教諭



生涯学習課程のスポーツ系を専攻し、卒業後はスポーツインストラクター等を目指していましたが、大学の研究室で体育科教育を学んだことをきっかけに、子どもたちの人間形成の基礎である小学校で働きたいと決意しました。

体育の授業(身体表現)は人間性が出やすいので、身体も鍛えながら心も鍛える授業を、教師(私)と子供たちで共に創り上げています。

教師の仕事は大変な部分もありますが、子供の成長を間近で感じる職業はそうありません。ぜひ、梨大で様々な経験を積んで、教師生活に活かして下さい!

### 松岡あすみ教諭

平成20年 教育人間科学部(美術教育専修)卒業

中学校教諭

素晴らしい  
中学の先生に  
めぐり逢い、  
今度は私が  
次世代へ  
「恩返し」!



毎日新しい発見に目を輝かせる生徒のそばでサポートし、成長に寄り添える。教師はとてもやりがいのある仕事です。「正解を探すのではなく、とことん手を動かして、友達と互いの良いところを見つけながら、ありのままに表現してみよう!」がモットーです。梨大時代は専門とは違う理系の一般教養科目にも挑戦。当時の仲間は今も財産です。

中学生時代の先生に感銘を受けたことが原点。今度は私が生徒に指導する立場になりました。しなやかで、折れない、くじけない心を持って欲しいです!

### 中込昭彦教諭

平成2年 教育学部(特殊教育学科)卒業

全ては自分の努力次第。  
「クリエイティブ」な  
仕事です!

特別支援  
学校教諭



当初は福祉の仕事に就く考えてでしたが、特別支援学校での実習や障がいを持つ方々と接する様々なボランティア活動などの経験を通じて、自分が通った学校とは違う「特別支援教育」の道へ進みました。

一人ひとり異なる事情を抱える子どもに寄り添い、日々の試行錯誤や努力で授業を創り出す。実はクリエイティブな仕事です。子供たちの「分かった」「できた」の明るい笑顔は、仕事を超えた達成感・喜びを感じます。

教師は様々な価値観と接する仕事です。大学時代は勉強も遊びも、無限の「学び場」。たくましい人間力を培って下さい!

### 中野夏希教諭

平成25年 教育人間科学部(障害児教育コース)卒業

幼稚園教諭

先生・  
保護者・地域。  
みんなで  
創り上げる  
幼稚園へ!



子どもが大好き!  
小さなつぶやき・息づかい・発見の瞬間に感動する日々を送っています。

教育実習で田んぼを作るプロジェクトに携わり、子どもたちの成長とどう結び付けるか、幼稚園や大学の先生・地域の方々・学生(当時の私)が真剣に議論して成功させました。障害者施設等でのボランティアサークル活動や卒業論文制作など、梨大時代での経験が今の仕事に活かしています。

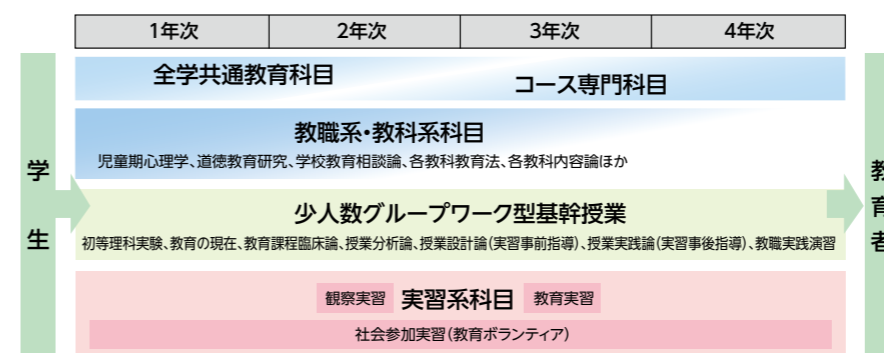
子どもは一人ひとり違うから楽しい。「～しなさい」よりも「今日も楽しかったね」と言える先生を目指します!

## 山梨大学教育学部の「教員養成力」

- 教育・人文・社会・科学・芸術・スポーツなど、諸学問を専門とする多彩な教員が在籍。
- 附属小学校・中学校・特別支援学校・幼稚園(附属4校)と連携した教育実習体制。
- 徹底した少人数教育。きめ細やかで親切丁寧な指導体制・教員採用試験対策が充実。



## 教員養成カリキュラム



## 教員を目指す学生を全力で応援!

### 〈教職支援室〉

1～3年次全員に、進路や大学生活について個別面談を実施。3・4年次には、教員採用試験対策の論作文添削、個人面接指導、場面指導や模擬授業等の練習も行っています。

### 〈キャリアセンター〉

教員志望専門のキャリアアドバイザーとの相談日(週2回程度)を設け、教員としての意識作りから、勉強方法、各科目のポイント、面接練習等を行っています。



## 受験生必見! これからの教員養成に必要なキーワード

### 〈アクティブ・ラーニング〉

「自分で調べる」「グループでディスカッション」「教室でプレゼンテーション」など、受動的な学習ではなく、自発的に学ぶ力や課題を解決する力を育てる授業の進め方です。

### 〈プログラミング教育〉

各教科におけるコンピュータを活用した学習活動や、コンピュータリテラシー教育、プログラミング的思考の育成を行います。

### 〈英語教育〉

小学校3・4年生に歌やゲームを通して英語に親しむ「外国語活動」、5・6年生に英語の読み書きを習う「外国語科」が導入されます。早期から英語を楽しく学ぶ環境を整えます。



甲府西キャンパスの「重新微典館碑」。平成28年に修復・整備。

起点は微典館(きてんかん)。  
歴史と由緒ある山梨大学。

教育学部の始まりは1796年。後に江戸昌平校の分校となった「甲府学問所微典館」にあります。約200年以上にわたる知の伝統を、今も大切に受け継いでいます。

## 教えられる「学生」から、 教える「教育者」へ、 STEP BY STEP!



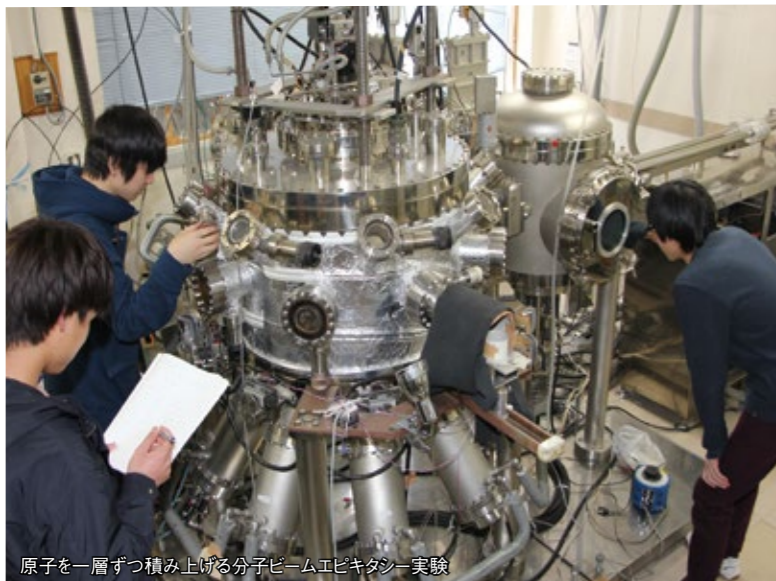
専門の垣根を越えた5人以上の教員が共同で担当する「少人数グループワーク型基幹授業群」を中軸に、カリキュラム全体を体系化しています。



教育実習へのゆるやかな導入として、2年次に「観察実習」があります。先輩が実習生として授業を行う様子を観察し、具体的なイメージをつかみます。



県内各学校での学習・行事・部活動等への指導補助や、不登校や障がいを持つ児童・生徒への支援等の「教育ボランティア」を幅広く行います。



原子を一層ずつ積み上げる分子ビームエピタキシー実験

本学が誇る研究には、日本ワインを牽引する専門研究、世界の水問題に果敢に挑戦する国際流域環境研究、再生可能エネルギーの最先端研究、世界トップレベルの「発生工学」「先端脳科学」「医療機器開発」など、個性的で異彩を放つ研究が多く揃っています。

しかし他にも、独自の・先端的で将来有望な研究が数多く存在し、本学教員は学生への指導との両立の中で、日夜、研究に励んでいます。

今回は、目覚ましい進展・成長が期待される若手研究者が推進する工学系研究の一部をご紹介します。近い将来、日本や世界を大きく変える研究成果が生まれるかもしれません。

## 山梨大学の 独創的な 工学系研究

山梨大学工学部は、  
自主的・意欲的な学びを応援する  
環境・教育プログラムが充実!



**■フィロス**  
数学・物理学などの基礎科目を中心に、自主的な学びをサポートする共創学習支援室で自己を高めます。



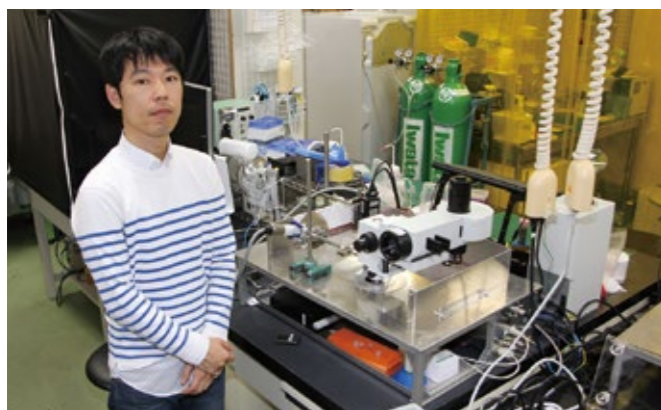
**■キャリアハウス**  
1年次から先端的研究に触れられるプロジェクト型の演習として、「Nanoやまなし」「クリスタル材料科学」「フォトニック&ワイヤレスシステム」「マイコン応用機器開発」「Sound house(OTO)」「ティーチサイエンス」など13のハウスが用意されています。



**■PBLものづくり実践ゼミ**  
3・4年次を対象とした実践教育として、「附属ものづくり教育実践センター」で多彩なプロジェクトを実施しています。(例)エコランレースカーの製作、マイクロ化学プラント、工業デザイン&モデリング、プラモデルから学ぶプラスチック設計など。

## ミクロなメカで分子の世界に挑戦! 新しい検査・診断技術の実現を目指して!

浮田芳昭 工学部 助教



私たちはマイクロ・ナノテクノロジーを駆使し、分子を測るための新しいミクロなメカニズムを実現することを目標としています。検査や診断などの医療技術を大きく変える野心を持ち、ものづくり・流体・計測システムなどの得意分野だけでなく、化学やバイオなど新しいフィールドにも肩の力を抜いてはみ出しながら、幅広く研究に取り組んでいます。得意技を駆使して誰も知らないことを調べたり、ひねりを効かせたアイデアで難しい問題を痛快に解決する研究の醍醐味を楽しんでいます。



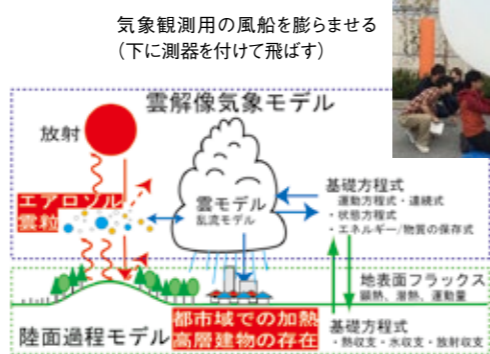
タンパク質分析用のデバイス。タンパク質の分析に必要な化学処理を自動的に実行するための流体回路が組み込まれています。

## 人間の活動がゲリラ豪雨を強めるのか? —都市活動と農地灌漑を取り入れた数値気象モデルの開発とその減災への活用—

相馬一義 工学部 准教授

都市活動や農地灌漑などを取り入れた数値気象モデル(運動方程式など物理法則に基づいて3次元の風速・気温・湿度・気圧・雲・降水を予測するプログラム)を開発し、日本の局地的大雨(ゲリラ豪雨)予測や東南アジアの気象予測、気候変動予測に役立てることを目指しています。

また、高度な気象予測情報を、情報工学の手法等を駆使して土砂災害や洪水被害の軽減に役立てる具体的なシステムも同時に開発しています。



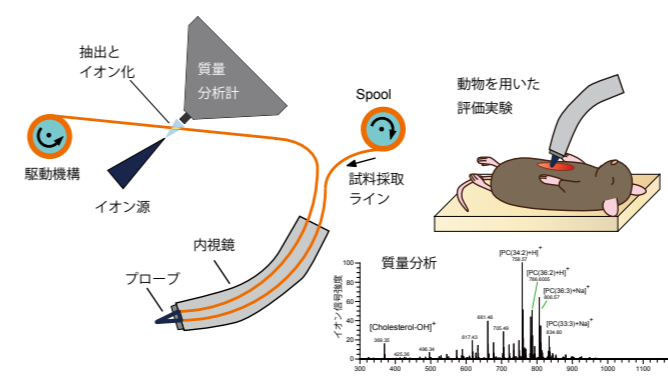
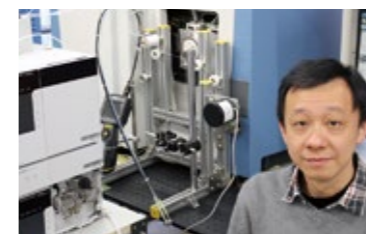
都市活動と農地灌漑を取り入れた数値気象モデル

## よりスマートな病気の診断へ! 質量分析法を用いた 内視鏡診断の実現を目指す

チェンリー チュイン  
工学部 准教授

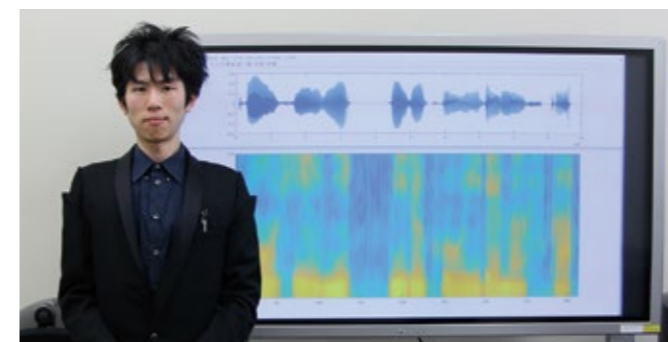
内視鏡は病気の診断に極めて重要な医療機器です。内視鏡の光学画像で疾患の疑いのある部位を発見した場合、鉗子(メス)で組織を摘出し、精密検査を行うことが一般的です。一方、質量分析は分子の質量を測ることのできる分析化学に不可欠の手法です。

本研究は、人体から直接的かつ低侵襲で検体を採取可能な「プローブ」を開発し、医療現場で使用可能な「質量分析内視鏡リアルタイム診断システム」の研究開発を、「医学」と「工学」のコラボレーションを進めています。

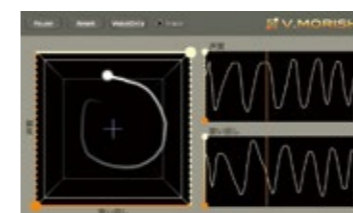


## 「良い声」とは? 良い印象を与える音声の生成を目指して!

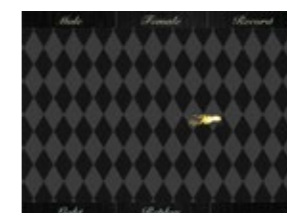
森勢将雅 工学部 准教授



数年前からスマートフォンでも音声読み上げソフトが利用されており、平成29年にはスマートスピーカー(AIスピーカー)が販売されるなど、「音声」に関する関心が高まっています。良い声のことを「イケボ」と表現するなど、音声を用いたコンテンツにおいて、良い声を作ることは商品価値にまで影響すると言えます。私の研究では、音声から受ける印象を数値化する技術や、音声や歌声を自由自在に加工するソフトウェアを開発しています。

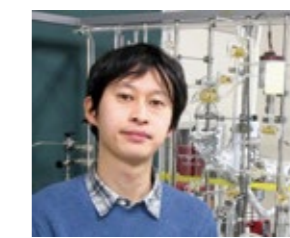


歌声加工インタフェース:v.morish



声を「描く」ソフトウェア:SOUNDSTONE

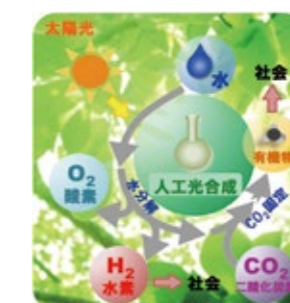
## 化学の力を使った光合成! 次世代のクリーンエネルギー 創出に向けて



高嶋敏宏  
クリーンエネルギー  
研究センター 准教授

植物が光合成をするように、人類が化学の力を使って、太陽光・水・二酸化炭素から水素・炭化水素などを作り出す「人工光合成」を研究しています。これによって得られる化合物は従来使われてきた化石燃料に代わるクリーンなエネルギー資源として、様々な分野での利用が期待できます。

自然界が数十億年かけて作り上げてきた巧みなエネルギー変換システムを皆さんと一緒に化学の力で実現してみませんか?



人工光合成における物質・エネルギー循環のイメージ



水を水素と酸素に分解するための光化学反応実験

## 植物や微細藻類の生育を促進する 共生細菌の驚きのパワー

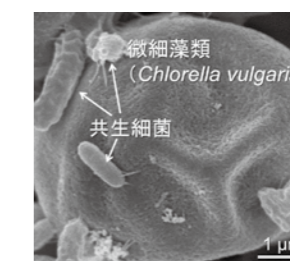
～共生細菌がバイオ燃料生産を革新する!～

遠山 忠 工学部 准教授



腸内細菌と私たちの健康との関係が、今注目されています。実は同じように、植物や微細藻類に共生する細菌も宿主(ここでは植物や微細藻類)の健全な生育に重要です。共生細菌のうち、ある特定の細菌は宿主の生育を著しく促進する、言わば「良い共生細菌」であることが分かってきました。

その共生細菌と宿主の相互作用の仕組みを分子レベルで研究しています。また、その共生細菌を「サプリメント」として使い、バイオ燃料の原料となる植物や微細藻類のバイオマスの生産性up!に挑戦しています。



微細藻類(Chlorella vulgaris)に共生する細菌



無菌Chlorella vulgaris(A)と増殖促進細菌と共生したChlorella vulgaris(B)の増殖の違い

現状に満足することなく、常に、何か新しいことがあるんじゃないか、もっと工夫できるんじゃないかと考え、トライし、得た情報を発信する。その姿勢を大切にしてほしいですね。



「明日から新人が来るから、やらせてやろう」と、前日運び込まれた虫垂炎(いわゆる盲腸)の患者さんを取っておいでくださいました。僕はそんなことは全然知らないから、普通に出勤して院長室で辞令交付を受けていると、「すぐに手術室に来なさい」と連絡が入った。急いで行ってみると、「手術着に着替えなさい」「さあ、執刀しなさい」と。それはもうびっくりしました。気が動転して、器具の名前も出てこないんですね。隣でタイミングよく器具を差し出してくれる看護師さんにも助けられました。虫垂炎は、ごく初歩的な手術なのですが、そのときは心配で心配で、毎日何度も患者さんの様子を診に行きました。若い女の子だったのですが、私があまりに頻繁に行くものだから、手術中に何かあったのではないかとかえって心配させてしまったほどでした。

#### 座右の銘は「泰然自若」

どんと構えて、ちょっとやそとじゃ動じないというさまが好きですね。手術では、どんなに準備し尽くしたつもりでも、不測の事態は起こり得る。そんなときも焦らず対処できる「余裕」を、常々持ちたいと思っています。こちらへきてから、15分ほどの道のりを徒歩通勤しているのですが、遠くの山々や田畑を眺めたり、いろいろと考えたりしながら歩いていると、心に余裕を感じます。実は、視力も良くなったのですよ。就任して1年、そんなことも含めて、山梨暮らしを楽しんでいるところです。

世界ラグビー殿堂入りの伝説のラグーマン、坂田好弘関西ラグビー協会会長のサイン入りラグビーボール。「One for all, all for one」の精神を忘れないように、デスクに飾っています。



# ICHIKAWA Daisuke

でも、ベテランの外科医なら5センチで同じ手術ができると思っていました。けれど恩師から、「君は10年前に現在の腹腔鏡手術の発展が想像できたか。できなかったのなら、医療の10年後を語る資格はない」と言われ、頭を殴られたようなショックを受け、翌日から腹腔鏡手術の習得に努めた経緯があります。ロボットについても懐疑的な意見がありますが、僕は、未来のことはわからないので、少なくとも世界の第一線について行かないといけないと思っていますし、最新鋭のロボット「ダ・ヴィンチ」が導入された山梨大学で、若い先生方と一緒に新しい手術に挑戦できることに、今、ワクワクするような楽しさを覚えています。

ずいぶん手荒な洗礼でしたけれど、こんな風に、先輩に育てられ、看護師さんに育てられ、患者さんに育てられ、今は後輩にも育てられている。チーム医療と言うのは本当に素敵な仕事だと思います。

#### ドラスティックに変化する 外科医療の最先端で…

今、外科手術はドラスティックに変化しています。100年間、お腹を開けて手術をしてきたのが、10年ほど前からカニばさみのような器具を使ってモニターを見ながら腹腔鏡手術が広がり、今、その技術をつけようと多くの医師が頑張っています。そしてさらに、ここへきて、ロボットの手術も出てきました。

僕は、腹腔鏡手術が出てきたとき、実は懐疑的でした。3センチの傷口で済むと聞

- 【専門分野】消化器外科全般
- 【学位】博士(医学)(京都府立医科大学)1998年
- 【略歴】
- 1965年 奈良県生まれ
- 1990年 京都府立医科大学大学院医学部医学科卒業
- 1990年 京都府立医科大学附属病院研修医
- 1992年 済生会京都府病院外科医員
- 1996年 米国ワシントン大学Pathobiology教室研究員



- 1998年 京都府立医科大学大学院医学研究科博士課程修了  
京都府立医科大学附属病院修練医  
京都きつ川病院外科医員
- 1999年 京都府立医科大学附属病院修練医  
京都第一赤十字病院外科医長
- 2002年 京都府立医科大学消化器外科教室助手
- 2003年 京都府立医科大学大学院医学研究科消化器外科教室助手
- 2011年 京都府立医科大学大学院医学研究科消化器外科教室講師
- 2015年 京都府立医科大学大学院医学研究科消化器外科教室准教授
- 2017年 山梨大学大学院総合研究部医学域臨床医学系外科講座第一教室教授



内視鏡手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」が設置された手術室。

大学院総合研究部医学域臨床医学系外科学講座第一教室

## 市川大輔教授

### 人物 発掘



やんちゃだった子ども時代。  
高3の夏に、医学部進学を決意

子どもの頃は、とりあえずやんちゃでした。学校から帰ったら、ランドセルを家に放り込んで、すぐ遊びに行くガキ大将。自然豊かな奈良の田舎で、自由気ままに生きていました。

医学部進学を決めたのは、高校3年の夏でした。父が建設業を営んでいたのですが、高3になり、親への反抗心もあって、「このまま跡を継ぐのはちょっと癪だなあ」と。実は、母親は僕を産んですぐ体を壊し、人工透析を経て僕が6歳の時に亡くなっています。病院に同行した思い出から、「医療って素晴らしい仕事だなあ」と常々思っていたこともあって、進路に迷いが生じました。そんなとき、当時、滅多に対話することのなかった父から、母親が息子が医者になることを望んでいたと何かの機会に聞かされ、「ならば医者になろう」と心が決まりました。

ラグビーで培ったチームプレイの精神  
チーム医療に魅かれ外科医局へ

一方で、当時、大学ラグビーが盛んで人気もあったことから、早くから、大学へ入ったらラグビーをやると決めていました。実際、京都府立医科大学の入学式の日にラグビー部に入部し、日々練習に励みま

した。ラグビーには、“One for all, all for one.”という精神があるのですが、これは、チームメイトのために自分は捨て身で相手にぶつかっていくとか、それぞれが自分の役割を果たし一つのトライを目指すといった意味で、つまりはチームプレイの精神です。僕はこれが好きなんです。その点、外科手術と言うのは、執刀医をはじめ、手術助手の先生や麻酔科の先生、看護師の皆さんなど、多くの力が終結し、一つの手術の成功を目指していくことで初めて成立するもの。文字通りのチーム医療なのです。そういう面にも魅かれ、大学卒業後は外科の医局に入局しました。

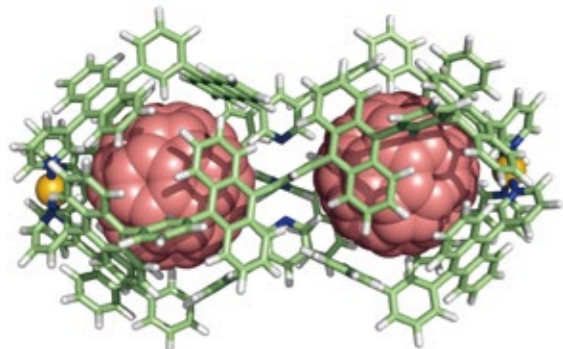
外科医としての原点になった  
研修医時代の2つの思い出

初めて患者さんの臨終に立ち会ったときのことは、今も鮮明に覚えています。その患者さんは、意識が無くなる直前に、僕のネクタイを掴み、近くに引き寄せて、僕を指さしながら、「ひ・と・だ・す・け」と言われました。そのときは、ああ、人助けなんだなあと思いました。僕らの仕事というのは、病気やけがを治して社会復帰していかれる方のお手伝いもしますが、もう治るのは難しいという方にも、時間を作るお手伝いができる。1日、1週間、1か月と、命を長らえる仕事でもあるのだなあと思えて感じました。研修医になってすぐ、24歳の時でした。

初めて執刀した手術のことも忘れられません。今は若い先生にもどんどん執刀する機会を与えていますが、僕らの頃は、手術は見ても覚えるものという考え方だったので、機会を頂いたのは、2年間の研修医を終え済生会京都府病院の医局に赴任してからでした。それも初日!どうやら先輩方が、

## 工学部応用化学科 矢崎研究室

矢崎 晃平 特任助教

有機合成により  
面白い形の分子を生み出す分子ピーナッツ: Nature Commun., 2017, 8, 15914  
毎日新聞山梨版(2017年8月4日)にて紹介

矢崎研究室では、有機合成(分子と分子を繋げる方法)を用いて、様々な形状の分子を作り、その形に由来する機能を開拓しています。

人々は、様々な材料をいろいろな“形”に加工することで、便利な道具を作ってきました。例えば、プラスチックという材料を、バケツの形にすることで、物を入れるという機能が現れてきます。

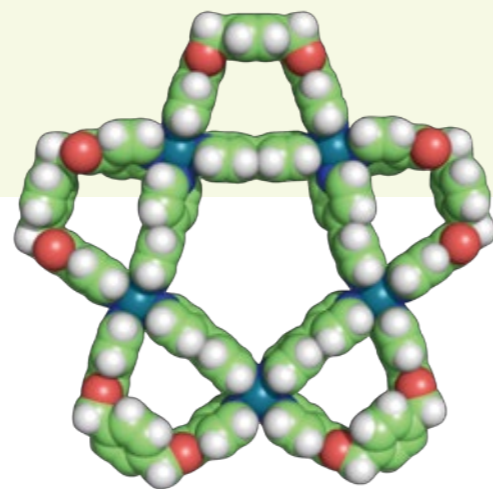
これに対し、目に見えない大きさの道具を作ることは非常に難しいです。何せ、手で動かせないし、見ることもできませんから。

そこで私の研究室では、有機合成を上手く使って、様々な形の分子(道具)を生み出す研究を行っています。面白いことに、目に見えない大きさの有機分子(1nm以下)でも“形”に由来する機能が発現します。

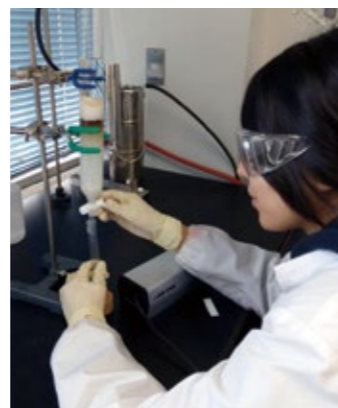
例えば、W型の分子と金属イオンを混ぜ合わせることで、ダ



共同研究者のDillip先生をお招きしての講演会(後方右から2番目:矢崎助教)



分子スター: Chem. Eur. J., 2017, 23, 12456-12461



有機物を綺麗にする実験中

ブルカプセルを作りました。このカプセルは、サッカーボール状分子(フルレン)を捕まえて、ピーナツのような形になり、これを「分子ピーナツ」と呼んでいます。また、U字型分子とI字型分子と金属イオンを混ぜ合わせ、星型分子を作ることも成功しています。分子スターは、大きさは約3nm(10億分の3メートル)です。おそらく世界最小の星だと思えます。この分子は、平成29年、アメリカ化学会の“分子オブザイヤー”にノミネートされました。

私は、研究がロールプレイングゲーム(RPG)と似ていると思っています。頑張った分だけ経験値が貯まり、どんどん成果が出ます。研究の過程では、様々な課題(敵)を見つけてきて、ガラスフラスコや試薬を武器にして戦います。世界中にライバルも居ますし、頼りになる仲間もいます。学生には、たくさん研究して、自分だけの素敵な研究(ストーリー)を創り上げて欲しいと考えています。そして研究生生活を通じて、どんな課題に対しても臆せず挑戦し、様々な人と協力しながら解決できる人間に育て欲しいと願っています。



実験のデータ解析をする学生

ぴっく  
あっぷ  
レッスン  
授業のヒトコマ

24

全学共通教育科目  
観光学入門

観光を「学ぶ」とは?  
実践的なアクティブ・ラーニングで  
地域や国際社会への見識・視野が広がります!



観光プランを企画中

【担当教員】  
生命環境学部 地域社会システム学科  
観光政策科学特別コース  
田中 敦 教授

「観光学」という分野は非常に学際的で、政策科学・経済学・経営学・社会学・統計学・心理学・都市計画学など、既存のさまざまな学問分野とつながっています。最近アニメの聖地巡礼等の「コンテンツツーリズム」や「エコツーリズム」、「スポーツツーリズム」など、その範囲を広げています。

また、観光を取り巻く環境も大きく変化しています。平成29年訪日観光客数は2869万人

人と、5年前の835万人の3.4倍にも急増。これは海外へ出国する日本人(1789万人)より1千万人以上も多い数字です。また、外国人が撮った「インスタ映え」する写真は、SNSを通じて日々世界中に発信されています。さらに、グローバル化も急速に進み、民泊やインターネット予約の分野では海外企業のシェアが国内でも急速に伸びています。

一方で、知らない土地を訪れ、地元の人々と交流し、歴史や自然、美味しい食事や温泉等の非日常を楽しむという「旅」の本質的な部分は変わっていません。旅が持つ魅力を、できる限り現場での経験を重ねながら、多様な観点から現象・効用を捉えて分析することが「観光学」を学ぶことなのです。



講義は田中研究室の学生もサポートしています

山梨大学では、平成28年度、生命環境学部地域社会システム学科に「観光政策科学特別コース」を設置し、多くの観光系科目が開講されました。その中で全学部の学生を対象に開講されているのが「観光学入門」の講義です。大変人気が高く、平成29年度も定員上限の50名が受講しました。

この講義では、旅の楽しさや国内外の観光地の魅力について、様々なアクティブ・ラーニングを通じて体感できます。例えば、「外国人の親友の両親が自分の地元に来たらどこを案内するか?」という設定で日帰り観光コースを策定したり、旅行会社の立場で企画や旅行パンフレットの作成にチャレンジするなど、観光に関する知識・スキルを身に付けることができます。

また、観光には、地域経済を活性化させ、街を元気にする効果もあります。観光を通じた「まちづくり」を、学部・学年横断のチームを編成し、学

生主体で学びます。平成29年度は、各チームごとに山梨県内における観光を利用した「地域創生プラン」を2週間かけて作成し、大手旅行会社の方をお招きしてプレゼンテーションを行い、現場で働く社員の視点から、リアルなコメントを聞くことができます。この講義の前段では、県の観光政策を推進する「やまなし観光推進機構」よりご講義いただいて基礎からしっかり勉強できますし、完成したプランが県の観光政策に活かされるなど、学生のモチベーションアップにつながっています。

さらに実践的な活動と合わせて、観光産業の第一線で活躍中の有識者による特別講義も積極的に実施しています。星野リゾート系ホテルの総支配人、JR東海広報室長、ワインツーリズムやまなし代表理事など、多彩なゲストによるライブ感溢れるレクチャーは、大変貴重で刺激的な機会です。



自ら作った観光プランをプレゼン!



観光の第一線で活躍する方々から特別講義

# close-up people

研究活動やサークル、プライベートにと輝く山梨大生を紹介します。



**「家事」が好きになる子どもを育てたい！  
親身になってサポートできる教師を目指します！**

教育学部生活社会教育コース3年  
**白井 彪留** (静岡県出身)

SHIRAI Takeru

**なぜ、山梨大学教育学部に入学しましたか？**

小さい頃から人と関わるのが大好きでした。子どもたち一人ひとりに親身になって接し、生徒が成長していく様子を近くでサポートできる「教師」という職業に強い魅力を感じていました。また山梨大学教育学部は、いくつかの専門科目がまとめられて一つのコースを形成しており、他の科目と関連付けて自分の専門科目を学べるというメリットがあります。実は私、男性では珍しい「家政系」を専攻しています。男の友人を作れるか不安だった私にとって、違う専門科目でも同じコースに所属するという点に心強さを感じ、山梨大学に入学しました。

**確かに珍しいですね。目指したきっかけは？**

高校時代、親元を離れての寮生活でした。食事は食堂で食べていましたが、掃除や洗濯など自分自身でやる家事が数多くあり、家事が苦手な人が多かったです。主要5科目に比べ「家庭科」は馴染みの薄い科目ですが、楽しく学べる授業を展開して、少しでも家事を好きになってもらいたいと思っています。

**勉強はいかがですか？**



家政系の学生と先生

教育実習で児童から貰った贈り物



被服実習で作ったスマック(エプロン)



調理実習で作った料理

1・2年次では、一般教養など専門以外の科目も学び、3年生からは専門科目の講義が中心です。3年次では前期と後期に3週間ずつ、講義の実践の場として教育実習に行きます。初めはなかなか自分の授業が上手いかず悩みましたが、回数を重ねて授業のポイントやコツを掴みました。授業が上手いときの嬉しさや、短期間でも子どもたちの成長を感じると、やりがいを感じます。主に3年生後期からゼミに入り、卒業論文の制作に入ります。私は被服ゼミで、自分の研究について日々模索しています。

**サークル活動はどうですか？**



バスケットボールサークル(最前列1番左)

学園祭で(最後列1番右)

バスケットボールサークルに所属しています。高校まで続けてきた経験者から初心者まで、レベルは様々ですが、みんな仲良く楽しく活動しています。夏と冬の年2回の旅行や、大学祭での模擬店出店などの活動も充実しています。サークルは学年や学部を越えて友人を作れるので、大学生活をより楽しいものにしてくれます。

**受験生に一言！**

私の好きな言葉に「自分のやりたいことに本気になれる人は偉いが、自分のやりたくないことに本気になれる人はもっと偉い」があります。「やりたくないな、なぜ勉強しなければいけないかな」と考えることも多いと思います。私もそうでした。しかし、自分の進みたい道に向かって、全力を尽くしたという「事実」は、必ず将来の自分の力になります。自分の納得のいくまで、自分のペースで頑張ってください。私も応援しています！

**勉強・スポーツ・ボランティア。何事もアクティブに！  
広い視野で患者さんと向き合える医師を目指します！**

医学部医学科4年  
**大澤いくみ** (山梨県出身)

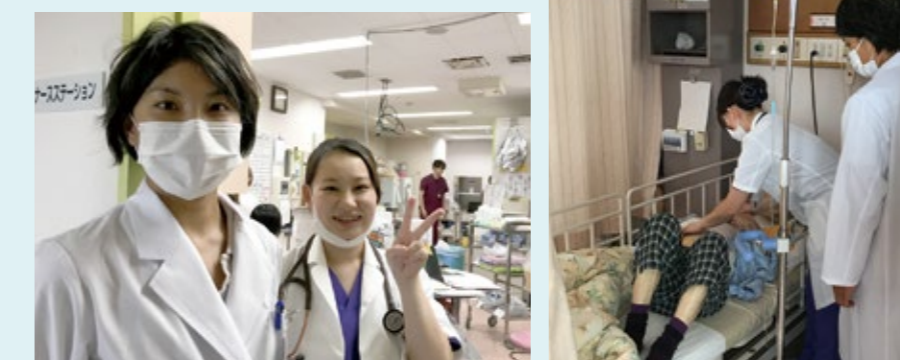
OSAWA Ikumi

**なぜ、医者を目指しましたか？**

私は小さい頃から医療に関わるドラマや漫画が好きで、人の生命のために奔走する医師の勇敢な姿を見て「自分も人の生命を救う仕事がしたい」と思ったのがきっかけでした。山梨大学への受験では、山梨県内の高校生を対象とした推薦入試を利用しました。



**勉強、頑張ってますか？**



実習先で(左)

県内の病院で実習

1年次に一般教養、1年次後期からは医学の専門科目が始まり、2年次にかけて主に人の身体の正常構造を学びます。3・4年次は病気について勉強し、5・6年次は病棟での実習を行います。学年が上がるに連れて医学的な知識が増え、低学年で学んだ基礎の知識と高学年で学ぶ臨床の知識が重なってきます。覚えることが膨大にあるので勉強は大変ですが、勉強するに連れてより深く理解できるようになるのはとても面白いです。

**サークルやボランティア活動は？**



東日本医科学生総合体育大会にて(手前)

水泳部に所属し、週に2〜3回活動しています。主に夏に開催される「東日本医科学生総合体育大会」に向けて練習しています。練習は辛いこともありますが、良い先輩・後輩に恵まれ、とても居心地が良い部です。水泳の他に、海へ遊びに行ったり、勉強の相談をしたりなど、良い仲間と囲まれて過ごす時間はとても楽しいです。



水泳部員と(後列右端)

また、長期休みには、県内の病院・診療所での実習や医療ボランティアへの参加など、授業以外の活動にも取り組んでいます。通常なら5年生で病棟で患者さんと接するのですが、このような実習に参加することで、より早い時期から実際の医療現場を見て、医師の仕事や患者さんへの接し方を学ぶことができ、とても勉強になります。

**受験生に一言！**

受験に大きな不安を抱えていることと思います。しかし乗り越えれば、ずっと大きく楽しい世界が待っています。自分の興味のある分野を勉強し、部活動や友だちづくりなど楽しみもたくさんあります。皆さんが受験を無事終えて、最高の大学生活を送られることを祈っています。



かるたクイーンを目指して!

皆さん、こんにちは! 競技百人一首サークルです。「競技かるた」と呼ばれる小倉百人一首を使った競技をしています。

皆さんは、人気漫画「ちはやふる」をご存知でしょうか。女優・広瀬すずさん主演の映画実写化でも話題となりました。畳の上に並べられた50枚の札(かるた)を挟んで2人が向き合い、句が詠まれると同時に目にも止まらぬスピードで札を手で払って飛ばす、あの競技です。昨年は同じく人気漫画「名探偵コナン」の映画版題材としても取り上げられ、近年人気急上昇中です。

この競技には、瞬発力・記憶力・精神力が必要とされることから「スポーツ」として扱われ、「畳の上の格闘技」とも呼ばれており、全

## Kyogi Karuta Club ◎競技百人一首サークル

研ぎ澄まし、素早く、美しく取る!  
爽快感を味わえる競技かるたです。

全国各地で様々な大会が開かれています。

サークルの活動としては、週1回夕方から学生会館2階和室で練習試合をしています。他の日に大学の外で自主練習する部員も多く、大会での好成績を目指して頑張っています。でも、入学後に初めてかるたを始めた部員が殆どで、有段者が親切に教えてくれます。最近では、他大学との試合だけでなく、小中学生や一般の方も呼び一緒にかるたを楽しんでいます。

このように、競技かるたは老若男女いつでも誰でも楽しめる競技です。「百人一首を覚える自信がな

い?」と心配されている方、秘訣がありますよ! 分からないことや勝てるコツなど部員が何でも教えます! 札が詠まれた瞬間に、誰よりも早く美しく札を取れた時の気持ち良さ、一度味わってみませんか? ぜひ一度、気軽に遊びに来て下さい!



緊張感と解放感の交差が「クセ」になります。

## Photography Club 「写真を楽しんで、上達する!」 思い出の一枚を撮りませんか?

◎山梨大学写真部

こんにちは! 山梨大学写真部です。30名以上が活動しています。

モットーは「写真を楽しんで、上達すること」。機材はスマートフォンから一眼レフまで、初心者から上級者まで、垣根なく活動しています。

活動方式は独特です。写真



春は桜の下で



夏はヒマワリ畑で

InstagramやTwitterなどで写真を見る機会が多いと思います。今はスマートフォンで気軽に写真を撮れるので、皆さんも一度は、風光明媚な風景、仲間との素敵な思い出など、撮影を楽しんだ経験があると思います。私たち写真部は皆さんと同じ、写真好きが集まった温かい雰囲気です。カメラマン派遣、作品データ提供なども随時行っています。

一度きりしかない大学時代に、一緒に思い出の一枚を撮りませんか! 以下の連絡先に気

軽にメッセージをお寄せ下さい。お待ちしております!

Mail:nashidaiphoto@gmail.com

Twitter/Instagram:@nashidaiphoto



アツい演奏を披露!

こんにちは、山梨大学医学部軽音楽部です。福利厚生棟の部室を中心に活動しています。

普段は部員が各々音楽バンドを組んで、好きな曲を選んで練習しています。初心者が多いですが、仲間同士でアドバイスし合い、先輩から教えてもらいながら腕を上げています。

他にも、楽曲を聴いて演奏や楽譜に再現する「耳コピ」を試してみたり、作曲にチャレンジしてみたりと、それぞれ自分の好きなやり方で、アレンジを加えながら音楽を楽しめるなど、自主性を尊重するサークルです。

その練習の成果を披露する場として、主に、春にライブハウスで行われる「新歓ライブ」や、例年秋に開催される「医学祭ライブ」などを定期的に行っています。

皆さんの多くは、音楽は「聴く」ことで意気を高めたり心を癒したりするものと考えていらっしゃると思いますが、ステージでプレイヤーとして音を奏でると、この上ない感動を味わうことが

## Light Music ◎医学部軽音楽部 Club Medical Campus

ときにロックに!  
ときにポップに!  
自由気ままに音楽やっています!



新歓ライブの案内(昨年)

出来ます。想像してみてください。仲間と一緒に作り上げた曲に合わせて、オーディエンスが体を揺らし、そうして会場全体がとけあって、一体となっていく感覚!

軽音楽部はそんな感覚の虜になった人々の集う、和気あいあいとした空間です!



ライブ参加者みんなで!

## Symphony Orchestra Medical Campus ◎医学部交響楽団

入学式・卒業式で演奏します!  
みんなで作り上げるオーケストラを一緒に!

皆さんこんにちは! 山梨大学医学部交響楽団、通称「医学部オケ」です。総勢約80名の、医学部最大規模のサークルです。

「オーケストラ」というと、少し難しそうなイメージが有ると思いますが、大学から楽器を始めた初心者がとても多いサークルです。「せっかく入学したのだから、何か新しいこと

にチャレンジしてみたい]...そんな皆さんにはピッタリです。毎年たくさんの新入生が加入しています。

私たちは全国でも珍しく、指揮者も学生が行っています。自分たちで意見を出し合い、自分たち自身の手で「音楽」を作り上げるのは本当に楽しく、やりがいがありますよ。

サークル活動は自主練習が中心です。お昼休みや授業後など(熱心な人は朝の時間も!)、好きな時間に練習しています。毎週土曜日に合奏を行い、指揮者のもとみんなで曲合わせをします。自主練習とは一味違った音楽体験ができますよ。

練習の成果を披露する場として、年2回、春と秋の演奏会を開催しています。



練習風景

また、演奏会前の合宿や、少人数での部内アンサンブル大会、県内病院や自治体でのイベント演奏、本学の入学式・卒業式での記念演奏なども行っています。

ご興味のある方は是非、私たちの演奏会に足をお運び下さい! そして気軽に声を掛けて下さい。一緒に演奏できる日が来るのを楽しみにしています!



演奏活動



志賀高原での夏合宿

NEWS & TOPICS 1

ノーベル賞受賞記念！  
大村智博士を讃える  
モニュメント完成&記念学術館  
起工式挙行

モニュメントの隣には大村博士の  
ブロンズ製肖像レリーフも



学術館完成イメージ



モニュメント

本学では、ノーベル医学・生理学賞を受賞した本学卒業生・大村智博士を讃えるため、「大村智記念基金」を活用した各種事業を展開しています。

平成29年10月16日(月)、医学部キャンパス臨床講義棟1階玄関に記念モニュメント“Forever and ever”が設置され、完成披露記念式典を挙行了しました。大村博士が発見した物質「エバメクチン」の分子構造を基にデザインしています(デザインは村松俊夫教育学部教授、化学構造式監修は新森英之生命環境学部准教授、高さ約2.8m)。

翌17日(火)には、甲府キャンパスで、「大村智記念学術館」起工式を挙行了しました。西キャンパス正門横の武田通り沿いに建設するこの学術館は、構造2階建て・延べ床面積572㎡、1階に大村博士ゆかりの品や本学の研究成果、学術的資料、歴史的資料などを展示し、2階に150人収容の多目的ホールを整備する予定です、平成30年夏頃の開館を予定しています。

※両式典とも、大村博士ご出席の下、盛大に開催されました。

NEWS & TOPICS 2

山梨県下で唯一の実施施設！  
県内初の経カテーテル大動脈弁  
植え込み術(TAVI)に成功

カテーテルで心臓へ植え込まれる弁。  
牛の組織から作られた弁が金属の枠  
(ステント)に固定されています。



中島博之医学部教授(外科学講座第2教室)を中心とする循環器内科医、心臓血管外科医、麻酔科医、放射線技師、臨床工学技師、看護師等で構成されたハートチームは、大動脈弁狭窄症に対する新しい治療法である経カテーテルの大動脈弁植え込み術(TAVI)を、山梨県内で初めて成功しました。

「TAVI」とは、カテーテルという細い管を用いて、胸を開くことなく、また心臓を止めることもなく、足の付け根などから小さく折れたたんだ人工弁(生体弁)を大動脈弁の内側で抜けて植え込みます。従来の外科的大動脈弁置換術に比べ、患者さんの身体への負担を大幅に軽減できるため、これまで外科手術が困難と判断された、高齢で体力の落ちている方にも治療を受けていただくことが可能となりました。超高齢化社会の我が国に求められる大変画期的な治療法です。平成30年2月までに最高齢93歳の方を含む6人の患者さんに成功しました。



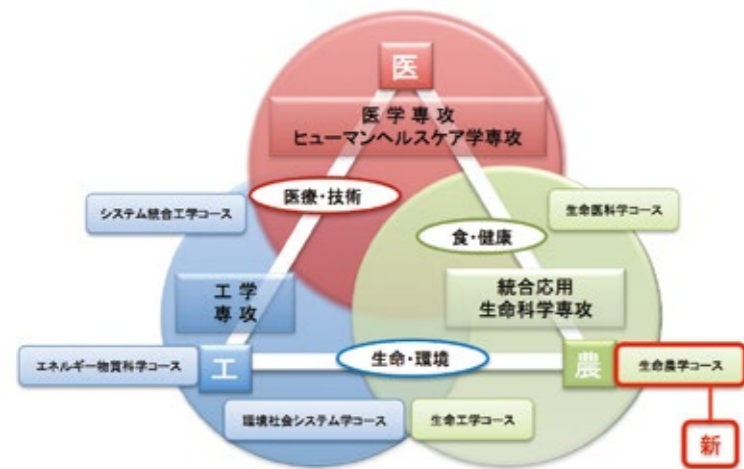
折りたたまれた人工弁



植え込み後の人工弁

NEWS & TOPICS 3

平成30年度より、  
大学院博士課程の組織を改編



本学大学院(博士課程)では、平成30年度から新たに農学分野(生命農学コース)を含む「統合応用生命科学専攻」を設置します。新専攻では医工農の分野横断的な教育を展開します。

[改編の概要]

- ・「統合応用生命科学専攻」(融合分野)  
農学学位を授与する生命農学コースを新設するとともに、生命医科学コースと生命工学コースに再編します。諸学融合の理念の下、「生命科学」を学術の基盤として、生命現象を分子、細胞、組織及び個体の各レベルで理解させ、「健康」をキーワードに、医工農の3コースが連携し諸学融合教育を展開します。
- ・「医学専攻」(医学系)  
2専攻を1専攻に再編し、臨床と基礎で協働しトランスレーショナルリサーチ志向に対応した教育を展開します。
- ・「工学専攻」(工学系)  
3専攻を1専攻に再編し、幅広い知識を身に付け且つ専門教育を深める3コースを導入するとともに、時代のニーズに対応できる体系的な教育を展開します。

NEWS & TOPICS 4

『やまなし燃料電池バレー』創成へ！  
文部科学省プログラムに採択される



参画企業・山梨県・本学関係者らが記者会見(平成29年7月31日(月))

本学と山梨県が連名で申請し、燃料電池ナノ材料研究センターが参画する「水素社会に向けた『やまなし燃料電池バレー』の創成」事業が、文部科学省「平成29年度地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」事業に採択されました。

本事業は、本学と地域に蓄積された燃料電池技術の強みを更に発展させ、新たな燃料電池スタック及びシステムを創出し、電源及び燃料電池自動車等への展開を図ります。また、地域内外の企業と連携し、今後到来する水素社会に向けた事業化を推進します。

会見で島田眞路学長は「新規産業を県内に創出し地方再生のロールモデルを目指す」と強い決意を示しました。

NEWS & TOPICS 6

自治体・企業との産学官連携！  
遊びの運動効果を数値化・分析し、  
教育政策へ活かす。



甲府市役所にて事業発表(平成29年10月13日(金))

本学・甲府市・ミズノ株式会社・株式会社ボーネルンド・株式会社エーティーエルシステムズは共同で「子どもの運動習慣データを基盤としたスマート運動教育モデル事業」実証を実施します。

具体的には、①運動能力の測定・分析・提供システムを構築し、運動効果の見える化と運動能力測定の習慣化を図る、②プレイヤーの育成システムを構築し、運動効果向上の明確化と導入環境の整備を図る、③運動習慣促進プログラムを構築し、運動習慣等のデータ活用の必要性の認識を高めることなどを目指します。

本学では、データの設定・分析を行い、運動能力の測定手法と発達発育状況の分析方法の確立などを通じて本事業に参画します。

NEWS & TOPICS 5

本学のシーズ×地方銀行の  
ネットワーク=更なる地域活性化へ！



協定締結の様子(平成29年12月7日(木))

本学が加盟する大学知財群活用プラットフォーム(PUiP)は、株式会社山梨中央銀行と連携協定を締結しました。

本学と同行は、平成17年7月に「包括的業務連携に関する協定書」を締結以降、本学の知的財産を活かした県内企業の商品開発や事業発展等に向けて取り組んできました。

今回、本学を始め全国20大学・機関が加盟する任意団体「大学知財群活用プラットフォーム(PUiP)」と同行が、地方銀行では初めて連携し、本学客員社会連携コーディネータ等が受けた産学連携に関する企業相談の内、本学以外で最適な知的財産や研究シーズ等を持つ加盟大学等を、本学を通じて同行が企業に取り次ぎ、経営課題解決の支援を行います。

NEWS & TOPICS 7

地域貢献へますます前進！  
県内自治体と連携協定締結



笛吹市との協定調印式の様子  
(平成29年8月22日(火))



富士河口湖町との協定調印式の様子  
(平成30年1月24日(水))

本学は、笛吹市と包括的連携協定を締結しました。健康情報の利活用によって同市の保健・医療・福祉政策に反映させる取り組みを行う他、ヒヤリング調査による公共交通の利用実態や移動ニーズの把握・整理を行い、同市の公共交通ネットワークの最適解を提言します。

また、本学は、富士河口湖町と包括的連携協定を締結しました。地域防災サポート事業、教育ボランティアによる教育サポート事業、大学生の視点を活用した観光地域づくり協働事業などを推進します。



## 山梨大学・読売新聞社共催「連続市民講座2018」知る喜び —ひと・くらし・けんこう—

山梨大学では、平成30年度も読売新聞甲府支局と共催し、「知る喜び—ひと・くらし・けんこう」と題した全9回の連続市民講座を開催します。

聴講は無料です。平成30年4月～平成31年3月の原則毎月(8月・11月・1月を除く)第3土曜日に、本学の教員が登壇し、専門の分野を凶解などを用いて分かりやすく解説します。7回以上出席した聴講者には修了証書「Master of Delight in Knowledge」を授与します。

### 【日時・場所】

開催日：スケジュール一覧表参照

会場：山梨大学甲府東キャンパス A2-21教室

定員：330人

時間：午後1:30～3:00まで(午後1:00開場)

受講料：無料

### 【お問い合わせ先】

〒400-8510 甲府市武田4-4-37

山梨大学教務課連続市民講座担当

電話:055-220-8043 FAX:055-220-8796

メール:koukai-kouza@yamanashi.ac.jp

### 【スケジュール一覧表】

\*詳細は右記ホームページをご覧ください。 <http://www.yamanashi.ac.jp/social/378>

	開催日	演題	講師
第1回	平成30年 4月21日(土)	放射線医学 ～「放射線」を使ってできること～	荒木拓次 准教授 (医学部附属病院放射線部)
第2回	平成30年 5月19日(土)	なぜ訪日観光客はこんなに増えているのか? ～観光のチカラとその未来～	田中敦 教授 (生命環境学部地域社会システム学科)
第3回	平成30年 6月16日(土)	Cool(動く、食う、寝る:くうる)に決めて健康長寿 ～元気で長生きの秘訣は身近なところにある～	小山勝弘 教授 (教育学部スポーツ健康科学コース)
第4回	平成30年 7月21日(土)	身の周りのロボット ～掃除機から自動車まで～	丹沢勉 准教授 (工学部情報メカトロニクス工学科)
第5回	平成30年 9月15日(土)	血液検査と血小板の意外な役割を知る ～日常行われる臨床検査と最先端の血小板研究～	井上克枝 教授 (医学部臨床検査医学講座)
第6回	平成30年 10月20日(土)	大災害から命を守るちえ、すべ、しくみ ～被災地の現状と県内の地区防災の取組み～	鈴木猛康 教授 (工学部土木環境工学科)
第7回	平成30年 12月15日(土)	山梨県の救急医療 ～現在から未来まで～	松田兼一 教授 (医学部救急集中治療医学講座)
第8回	平成31年 2月16日(土)	藤原道長の素顔 ～「この世をば」の歌から千年～	池田尚隆 教授 (教育学部言語教育コース)
第9回	平成31年 3月16日(土)	栄養と健康 ～巷にあふれる栄養情報の活用方法～	望月和樹 教授 (生命環境学部地域食物科学科)

※平成30年2月末時点での情報です。

## 平成30年度 学年暦(年間予定表)

事項	期日等
前期開始	4月 1日(日)
ガイダンス等、健康診断等	4月 2日(月)～4月11日(水)
入学式	4月 6日(金)
前期授業開始	4月12日(木)
授業振替日	7月17日(火)月曜日の振替日
前期授業終了	7月31日(火)
夏季休業	8月 1日(水)～9月21日(金)各学部で定める
秋季卒業式・修了式	9月27日(木)
前期終了	9月30日(日)

(注)1. 授業振替日とは、授業回数不足している曜日について、当該不足曜日の授業を振替えて行うものです。

2. 1月18日(金)は、大学入試センター試験準備のため休講となります。ただし、医学部キャンパスは医学部授業時間割による授業を行います。

事項	期日等
後期開始	10月 1日(月)
開学記念日	10月 1日(月)
秋季入学式(大学院)	10月 1日(月)
後期授業開始	10月 2日(火)
授業振替日	10月 9日(火)月曜日の振替日
大学祭(医学部キャンパス)	10月26日(金)～10月28日(日)
大学祭(甲府キャンパス)	11月 2日(金)～11月 4日(日)
授業振替日	11月22日(木)金曜日の振替日
冬季休業	12月22日(土)～ 1月 6日(日)
授業振替日	1月16日(水)金曜日の振替日
後期授業終了	2月 4日(月)
春季休業	2月 5日(火)～3月31日(日)各学部で定める
卒業式・修了式	3月20日(水)
後期終了	3月31日(日)

### 今号の表紙

教育学部附属幼稚園で教育実習を行う学生たち



元気に遊びまわる園児たちに悪戦苦闘しながらも、ピアノ伴奏に合わせた合唱や絵本の読み聞かせなどに励んでいました。自らの幼少期を思い出しながら、今度は「教育者」の立場で児童に接するその姿は、微笑ましく、頼もしく感じられます。皆さん、良い先生になって下さいね!

### 編集後記

例年以上に寒さが厳しい冬でした。漸く暖かさを感じる季節に、「山梨大学広報Vine32号」を皆様へお届けします。

今号の特集でインタビューした梨大出身の教員は、幼い頃から教員を目指していた方もいれば、大学時代の学習や経験を通じて教員になった方など、そのきっかけは実に様々でした。

教員の長時間労働などの報道が多くなる昨今ですが、「確かに教師は忙しい。でも、子どもの成長や笑顔を見ると、自然と仕事に向き合いたくなる」との言葉が印象的でした。

子どもたちも教員も、立場は違えど、同じ教室の中で互いの響き合いを通して、様々な困難や壁を乗り越えてゆく力を培うことが「共に学び、共に成長する」と言えるのかも知れません。

(広報企画室)

山梨大学広報 **ヴァイン** 2018 vol.32 March

発行者:山梨大学総務部総務課広報企画室

[本誌に関するご意見・お問い合わせ先]

山梨大学総務部総務課広報企画室

TEL:055-220-8006 FAX:055-220-8799

E-Mail:koho@yamanashi.ac.jp

山梨大学ホームページ

<http://www.yamanashi.ac.jp/>



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。